

令和七年度

海外帰国生入学試験問題 国語

令和六年十二月十日実施

試験開始の合図があるまで問題用紙は開かず、左記の注意事項をよく読んでおきなさい。

一、問題は二十九ページまであります。足りないページや、印刷のよく見えないページがあったときは、手を上げて申し出てください。

二、解答用紙は別になっています。答えはすべてそこに記入してください。

三、解答に字数の指定がある場合は、句読点やかっこなどの記号も字数として数えます。

四、問題用紙には、受験番号・氏名を書く必要はありません。

一 「長谷川 湊」が通っている中学校では、

クラス対抗の球技大会が近づいてきたが、「湊」がリーダーをしているドッジボールチームは朝練に來ない人もいる。次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（問題の都合上、本文を変えているところがあります。※のついた説明は出題者が加えたものです。）

授業が終わると、クラスメイトの安藤悠真に、

「あのさ」

と、^①声をかけられた。

^②湊は少し嬉しくなった。

創作部でガンプラ（※ガンダムのプラモデルの略）作りをしている悠真とは、部活も違^{ちが}うし、普段はあまり話さない。だが、去年、同じ行動班で校外学習に行った時、アンドロイドやロボットの話を^もして、楽しく盛り上がった。そうやって一時的に近しい仲になったと感じられたのに、校外学習が終わり、日常が戻ると、あまり話をしなくなった。

二年生でふたたび同じクラスになってからも、特に仲良くなったりはしなかった。

湊が日常的につるんでいるのはサッカー部の仲間たちだ。部活でしょっちゅう顔を合わせるし、試合にも一緒に行くし、家でも同じゲームで遊んでいる。何かとノリが合うし、共通の話題が多いから、一緒にいて楽なのだ。

とはいえ、悠真とはいっつかまた話してみたいなと思っていた。だから、彼が話しかけてきてくれて、湊は嬉しかった。

「どうしたの、安藤」

^③ちよつとこそばゆいような気持ちで湊が聞くと、悠真は、

「朝練の集合時間が早すぎるんじゃないか？」

と言った。

へ、と思った。

どうやら、球技大会のことで、意見を言いにくいらしい。

「塾で夜遅くおそ起きて朝早く起きられない人もいると思うよ。だからバレーチームでは、朝練は任意にして、休み時間と放課後に、各自でサーブ練習をすればいいってことになったんだ。ドッジボールもそういうふうにしたら？」

久しぶりに話す悠真に突然、そんな提案をされ、湊はつい、「ふんつ」と⑤を鳴らした。くじの結果とはいえ、バレーチームには運動が得意な面々が集まったのだ。はつきり言って、悠真はそういうタイプではないが、サッカー部で湊の次にうまいやつとか、野球部のエースとかも、バレーチームに所属している。

一方、ドッジボールチームは、スポーツが苦手そうな人も多く、ちゃんと練習しないと、一回戦から負けてしまいそうなのである。そうした事情も知らずに、無関係のチームに所属する悠真から文句を言われて、むっとした。

悠真は言いたいことを伝えると、「じゃ」と言っ、自分の席に戻って行った。

湊は⑥なんだかむしゃくしゃした気分になった。

休み時間はまだ少し残っていた。

教室の後ろで友達と話している陽菜を見つけた。

湊は陽菜を呼び止めて、

「まじで、明日はサボらないでくれる？」

と念押^{ねんお}しした。

悠真とのやりとりで A していたからか、声が少し尖^{とが}って響^{ひび}いた。

すると陽菜が、

⑦「は？無理なんだけど」

と、真顔で返した。

「無理」という言葉の響きに、湊の頭に血がのぼった。

「無理とかってありえないだろ！ あと一週間だって、分かてるのかよ？」

つい大きな声が出てしまい、周りでしゃべっていたグループが B した。

陽菜は黙^{だま}った。背の高い湊の視点からは、うつむいた陽菜の表情が分からない。苛^{いら}立った湊は、

「とにかく、清水^{しみず}がサボったら、皆^{みな}の連帯責任^{れんたいせきにん}になるからよろしく」

と、強く言った。

陽菜の表情は、最後まで分からなかった。

三、四時間目の授業中も、給食を食べている間も、湊はなんだかもやした気分だった。

昼休み、サッカーをやり到校庭に行こうと、湊がナカニシと廊下^{ろうか}を歩いていると、市川咲希^{いちかわさき}が現れた。

「長谷川くん、ちょっといい？」

咲希は決意^こを込めたようなまなざしで、湊に話しかけてきた。

「何、何」

ナカニシは好奇心⑧ ころきしんに満ちた顔つきだったが、「球技大会のことです」と咲希が言ったとたん興味をなくし、先に校庭に行ってしまった。

「さっき陽菜ちゃんに言っていた連帯責任のルール、やめた方がいいと思う」

と、咲希に言われ、湊は内心で C した。

安藤に続いて、市川さんも口を出してくるのかよ。そう思った。

「球技大会まで一週間しかないんだから、強制参加が当たり前でしょ」

湊が言うと、

「でもね、陽菜ちゃんが朝早く来られないのって、妹と弟に朝ごはんを食べさせているからなんだよ。朝、仕事でお母さんがいないから、陽菜ちゃんがふたりの支度をしてあげてるんだって」

と咲希は言った。

湊は「えっ」と思った。そんなことは聞いていなかった。

「それに、音楽部の子も困っていたよ。音楽部は入場行進の音楽を担当するから、その朝練があるの」

そう咲希に言われたが、ドッジボールのメンバーに音楽部の人がいたことも、湊は知らなかった。

「それは……悪かったけどさ」

しかし湊の心には、陽菜や音楽部の人に対する苛立ちも湧わき上がる。

「でも、どうしてみんな、俺おれに言ってくれないんだよ。言ってくれないか、分からないじゃないか」

「長谷川くんに、みんなが言いにくくなっていた気持ち、分からない？」

普段穏やかな雰囲気おだ ふんいきの咲希が、少し責めるような目をして湊を見ていた。その表情に湊は若干じやっかんひるみ、
「だけどさ……」

と言ったまま、後は何を言ったらよいのか分からずに口ごもる。

自分が、陽菜の事情を全く考えずに、ただ朝練に来るようにと強い口調で言ってしまったのを思い起こした。あの時、うつむいた陽菜の表情が読めなかった。

「どうしたの？」

と、声がした。

ちようど通りかかった悠真だった。

(中略)

「うん、あのね……」

⑨ 咲希が、どう言おうか迷ったように口ごもった。

代わりに湊は、

「ドッジボールの朝練のことで、市川さんから文句言われてた」と説明した。

「文句じゃないよ」咲希の顔が赤くなった。「もっとみんなの気持ちを考えたほうがいいよって思っただけ」

「文句じゃん」

湊は言い返す。

「教室の中に温度差があるから、リーダー役の人は、難しいよね」^⑩

と、悠真が言った。その語尾は優しく、一方的に自分を責める感じではなかったので、湊はほっとし、

「温度差？」

と呟いた。^{つぶや}

「みんな、それぞれの事情があるし、僕みたいに球技系全般スルーしたいタイプもいるから」^{ぼく きゅうぎけいぜんばん}

悠真が言った。

「スルーしたいのかよっ」

湊が言うと、咲希が少し慌てたように、^{あわ}

「あ、私は球技大会頑張りたい派だよ。だけど、罰則を作られたらやる気なくなるかも」^{がんば ⑪ ばつそく}

と、言った。スルーしたい、やる気なくなる、といったふたりの言葉に、湊はまさに「温度差」を感じたが、彼らが自分のためを思^そつて率直な意見を言ってくれていることも分かった。とはいえ、学年優勝を諦められない。^{あきら}

「じゃあ、どうしたらいいんだろう……」

つい、
⑫ が言葉になってこぼれる。すると、悠真が言った。

「正直、僕は球技大会になんの思い入れもなかったけど、長谷川くんが学年優勝を狙^{ねら}うって宣言した時、ちょっと頑張りたくなったよ。練習時間が合えば、やる気になる人も多いんじゃないかな」

悠真の言葉に、^⑬ うん、うん、と何度もうなずいていた咲希が、ふと思いついたというふうに、

「ねえ、昼休みに練習するのはどうかな？ 家族の事情も、部活や習い事も、昼休みにはないから」

と言った。

昼休みはサッカーをやりたいんだよなあ。

湊はそう思ったが、確かに皆が学校にいて、集まりやすいのは、そこしかない気もした。サッカーなら部活でできるし、今一番大事なのはドッジボールの練習だ。

「分かった」

湊が言うと、咲希がほっとしたように息をつき、その咲希の表情を見て安心したように悠真が去って行った。

(朝比奈あすか『いつか、あの博物館で。アンドロイドと不気味の谷』による)

問1 ——線部①「声をかけられた」の「られ」と同じ性質の「られ」をふくむ文を、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ 校長先生が来られるなら、教室をきれいに整えておこう。

ロ 大事にとっておいたお菓子^{かし}を、妹に食べられてしまった。

ハ 卒業アルバムを見ると、今でも熱い友情が感じられる。

ニ 目を凝らして探したが、彼女を見つけれなかった。

問2 — 線部②「湊は少し嬉しくなった」とあるが、なぜ「嬉しくなった」のか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- イ あまり話をしなくなった「悠真」だが、きっと味方になり協力してくれるに違いないと予感したから。
- ロ 創作部の「悠真」は朝練に消極的な人の気持ちが分かり、打開策を考えてくれると期待していたから。
- ハ 校外学習で仲良くなったが、その後話す機会のない「悠真」といつか話してみたいと思っていたから。
- ニ メンバーをやる気にさせるために、物事を客観的にとらえられる「悠真」の意見を聞きたかったから。

問3 — 線部③「こそばゆいような気持ち」の意味として最も適当なものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- イ ほへましい気持ち。
- ロ はれがましい気持ち。
- ハ 信じられない気持ち。
- ニ くすぐったい気持ち。

問4 — 線部④「任意」と反対の意味の言葉を、文章中から二字でぬき出して答えなさい。

問5 「⑤を鳴らした」の「」に当てはまる体の一部を表す言葉を漢字一字で答えなさい。

問6 — 線部⑥「なんだかむしゃくしゃした気分になった」とあるが、それはなぜか。そのようになった理由として最も適当なものを、

次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ 運動が得意な人の集まる別のチームの「悠真」から、自分たちの練習について意見を言われたから。

ロ 運動も得意だがプラモデルでばかり遊んでいる「悠真」から、一方的に朝練の中止を提案されたから。

ハ 運動が苦手な「悠真」から、自分たちのチームのメンバーがばかにされたように感じたから。

ニ 運動は苦手だが塾で毎日勉強をがんばっている「悠真」に、朝練をする意味を全否定されたから。

問7

A

C

に当てはまる言葉として最も適当なものを、次の中から一つずつ選んで記号で答えなさい。同じ記号は二回以上使えない。

イ いらいら ロ うんざり ハ しゅんと ニ しんと ホ どんより ヘ はらはら

問8 — 線部⑦「は？ 無理なんだけど」とあるが、なぜ「陽菜」はこう言ったのか。その理由を、文章中の言葉を使って四十字以内で説明しなさい。

問 9 — 線部⑧「好奇心」という熟語と成り立ちが同じものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ 可能性 ロ 雪月花^{せつげつか} ハ 大規模 ニ 不徹底^{ふていていち}

問 10 — 線部⑨「咲希が、どう言おうか迷ったように口ごもった」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ 創作部でガンブラ作りをしている「悠真」のことが少し気になっていたから。
ロ ドッジボールの練習をやる気がないことを「湊」に知られたくなかったから。
ハ 「湊」と「悠真」は仲が良さそうなので自分の立場が悪くなると困るから。
ニ 「湊」との朝練に関する話をどこまで説明してよいかわからなかったから。

問 11 — 線部⑩「教室の中に温度差がある」とあるが、ここでの「温度差」とはどのようなことか。文章中の言葉を使って、四十五字以内で具体的に説明しなさい。

問 12 — 線部⑪「罰則」は、この文章中では何のことを指すか。文章中から八字でぬき出して答えなさい。

問
13

⑫

に当てはまる、最も適当な言葉を次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ 不安 ロ 期待 ハ 悲観 ニ 決意

問
14

——線部⑬「うん、うん、と何度もうなずいていた」とあるが、ここから読み取れる「咲希」の球技大会の練習に対する気持ちを、説明した次の文の【 】に当てはまるように、文章中から二十字以内の表現を探し始めと終わりの三字をぬき出して答えなさい。

・リーダー役の「湊」は【

】と思っている。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（問題の都合上、本文を変えているところがあります。※のついた説明は出題者が加えたものです。）

みなさんは、グリーンレボリューション（緑の革命）という言葉聞いたことがありますか？

一九五〇年代から六〇年代初頭、アジア、特に南アジアの国々が旱魃（※ひでり）による餓死者の増加や大飢饉に何度も瀕していました。その頃に始まったのが「緑の革命」①です。主な特徴としては、(1)穀類（特に小麦やコメ）の品種改良の成功と農民たちへの効果的な普及活動、(2)灌漑農業の浸透、(3)化学肥料・農薬の普及やトラクターなどの農業機械化の促進、などがあります。そうした活動の相乗的効果により、一九六一年からの四〇年間でアジアにおける穀物の年間生産量は、三〇〇%以上増加しました。

市場に出回る穀類の流通量が増大したことで、実質的な穀類の市場価格がその四〇年間に四〇%も下落し、その結果、今までお金がなくて手が届かなかった貧しい人たちも、穀類を十分買えるようになりました。そしてFAO（※国際連合食糧農業機関）の統計では、アジアの慢性的（※長い間続いていること）飢餓人口のアジア全人口に対する割合は一九七〇年に三四%（アフリカとほぼ同じレベル）だったのが、二〇〇五年には一七%に半減したといわれています。その反面、「緑の革命」は、次に示すような弊害をもたらしたと推測されています（色々な意見や見方がありますが、ここでは主なものを挙げておきます）。

(1) 化学肥料の多用による土壌の質の低下

(2) 農薬の使用による農民の健康や生態系に対する悪影響

- (3) 灌漑農業の急速な普及と不適切な管理による表土塩基集積（※塩が地表に集まること）や地下水位の低下
- (4) 高い生産コスト（新種の種や化学肥料、農機具などの支払い）
- (5) 「緑の革命」に参加した裕福な農民たちとそうでない弱小農民たちとの間の貧富の差の拡大

などです。必ずしもいいことばかりではなかったことがわかります。他方、私は「緑の革命」が生んだ負の部分に、更に考えるべきことがらがあるように思えます。それは、穀類の市場価格が低下したために、農業生産が増えても農民の収入増加に必ずしも反映されず、儲からない農業が定着していったことです。

その結果、将来に向けた試験研究がまずおざなりになりました。

- A そのため、インフラ（※水道、道路）整備などが滞りました。
- B 農業を続けても生活ができないため、若者たちが農業から離れるようになりました。
- C 次世代の農業を支える若い後継者や研究者たちがこうして急速に減っていったのです。
- D 農業振興（※農業を盛んにすること）や品種改良などの研究に対する国家予算の配分が減りました。
- E 更に開発途上国に対する外国からの農業援助や投資（※利益を期待してお金を投じること）が急速に減少しました。

これはアジアだけでなく、世界全体に影響を及ぼしました。

こうした状況に警鐘を鳴らしたのは、二〇〇七年頃から二〇一一年にかけての食料価格の高騰（※値上がり）でした。当時、世界

全体では需要に見合う十分な食料を生産していたのにもかかわらず、食糧輸出国の天候不順などが原因の食料の輸出制限により、一時^②期、コメの国際価格が一年もたたないうちに三倍に跳ね上がりました。

何が起きたか背景を詳しく説明しましょう。当時、旱魃に襲われたコメの主要輸出国の一つであるベトナムが、自国のコメの在庫を十分確保し、国内の価格高騰を防いで消費者を守るため、コメの輸出を一方的に停止しました。慌てたのが、フィリピンです。フィリピンは、ベトナムからコメを輸入する正式契約を交わしていました。フィリピンではコメが主要な基幹（※主な）食料で、自国で十分に自給できないためにベトナムからの輸入に頼っていたのです。コメが輸入できない状況は、フィリピンにとって国民生活が大混乱に陥り、かつ政府が転覆する程の大問題でした。国のトップレベル同士で交渉しても一向に解決の糸口が見つからず、業を煮やして、フィリピンはもう一つのコメの主要輸出国であったタイに助けを求めました。そんなフィリピンの足元を見て（こういうと少し表現が悪いですが）、タイのコメ輸出組合はコメの輸出価格をどんどん吊り上げました。

その頃、世界の市場で流通していたコメの殆どがベトナムとタイが産地の米でした。フィリピンは言われるまま支払うしか選択肢がありませんでした。そうしているうちにコメの国際価格は一トン当たり三五〇米ドルぐらだったのが、一年もたたずに一〇〇〇米ドルを超えてしまったのです。続いて、二〇一〇年頃からロシアやウクライナなどで大旱魃が起こり、両国の小麦などの穀類の国際価格は六〇〜八〇%近く吊り上がりました。穀物相場（※取引される時の価格）の変動に乗じて利益を上げようとする投機筋（※利益をねらう取引をする人たち）やヘッジファンド（※利益を得ようとする仕組み）などが、こうした国際価格高騰に拍車を^{はげしや}と考えると考えられます。食料を輸入に依存している国にとっては大問題です。

経済的に余裕のある国は、食料の輸入価格の高騰がその国の消費者に過剰に響かないように、その国の国家財源を使い消費者価格をある程度調整できます。しかし、貧しい国では、そうはいきません。最初の二、三カ月は、高騰した輸入価格がその国の市場価格に響か

ないように、政府の補助金で値段を低く抑えられても、それが限界を超えれば、コントロールは難しくなります。そのため、財政難で国が補助金を出せなくなると、当然のことながら価格が高騰し、消費者の生活にも大きな影響を与えました。

開発国の貧しい家庭では、他の出費を切りつめてでも、生きるために毎月の収入の多くを食費に充てることになります。当然、家庭の支出に占める割合は高くなり、収入の半分近くが食費の家庭も少なくありません。こうした中で、食料価格の急騰（※急に価格が上がること）が続くと、それ以上家計を切りつめることができません。必要最低限の食料すら買えない状況が生じてきます。

この状態を放置しておけば、貧しい人々を中心に、飢えや餓死者が出ます。【Ⅰ】食べ物を求めて暴動や犯罪が発生することもあるでしょう。こうなると、人道（※人権）問題になってきてしまいます。実際に、FAOの調査では、中近東やアフリカなどの貧しい食料輸入依存国を中心に、当時三〇以上の国で反政府集会やデモ、暴動、食料の略奪、スーパーマーケットの焼き討ちなどの悲惨な事件が起きました。

こうした事態にダイショ^aするため、FAOは二〇〇九年に「世界の食料安全保障に関するハイレベル会合」を緊急開催しました。世界から一八〇カ国が参加しました。その会議を受けて、国連は、食料に対する過剰な投機やヘッジファンドの運用禁止、食料輸出国の自国の利益のための一方的な食料輸出制限の禁止を提案しました。【Ⅱ】富裕層のお金儲けや利益のために、貧しい国の人たちの命が軽視されてしまうと考えたからです。このままの状態を続ければ、飢えて病気になったり死んでゆく人たちが世界中で発生する大きなリスクがあったのです。

【Ⅲ】基本的には理解を得られたものの、欧米の一部の国や食料輸出国などの反対で、③「という強い措置については合意には至りませんでした。あの時私は、国連の限界を感じ、強く落胆したのを覚えています。

そして、私も含め、多くの人は気がついたのです。今までいかに食料や農業を軽視してきたか。食料はあってあたりまえ、安く買

えてあたりまえ、と思っていなかったか。いかに食料増産や安定して確保するための努力や農業への支援・投資を怠っていたかということ。こうした反省から、その後、F A Oが持つ役割の重要性を世界が理解することとなり、国際社会において食料と農業、食料安全保障問題などを担当する最も重要な国連機関の一つとして再認識されることになりました（と私は実感しました）。

象徴となったのが、F A Oが中心となって始まった「ゼロハンガー（飢餓撲滅運動）」でした。これは二〇一二年六月にブラジルで開催された「リオ＋20 国連持続可能な開発会議」においても取り上げられました。【IV】国連事務総長の提唱で「ゼロ・ハンガー・チャレンジ」として、二〇二五年までに地球上から飢餓を撲滅するという世界の共通優先課題として引き継がれました。

（中略）

そして、この「ゼロ・ハンガー・チャレンジ」は国連が掲げる一七項目のS D G sの ⑤ 番目の目標として現在も継続されています。余談になりますが、当時のF A O事務局長でゼロハンガー運動の提唱者のジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバ氏は、その功績がたたえられて二〇二三年度の食の新潟国際賞 大賞を受賞しました。

こうした新しいF A Oの躍動や、⑥ それに対する世界の期待は、F A Oにとっても私にとっても画期的なことでした。それまで、長い間、出席した国際会議などで、農業や食料の重要性を力説して理解やサندوقを促そうとしても、出席者たちからの反応が弱いことが多く、参加国の代表たちも強い関心を示すことがありませんでした。また、F A Oは慢性的な予算難でした。そのため現場の私たちは思うように活動が出来ず、⑦ を募らせていました。しかし、前述したように世界的な食料価格の高騰をきっかけに食料の重要性に対する認識が浸透するようになったことで、状況が一変しました。私たちが提案した事業案に対して、外部（ドナー先進国（※開発途上国に援助しようとする国）や国際機関など）からの信託事業資金がたくさん集まるようになったのです。二〇一四年頃には、大小の違いはありますが、私が勤めていたアジア太平洋地域で、常時、五〇〇から六〇〇のF A Oのプロジェクトが運営されるようになりました。

(中略)

どのプロジェクトも、色々な困難や苦労があつたものの、多くの人々の努力がムクわれ、MDGs（※国連ミレニアム開発目標、極度の貧困と飢餓の撲滅）ゴール1の「二〇一五年までにアジア太平洋地域における慢性的飢餓人口の割合を半減させる（五〇％減らす）」という目標を達成することが出来ました。この目標を達成出来たのは世界でアジア太平洋地域とラテンアメリカ地域の二つだけでした。あまり広報の対象にならなかったのも、知っている人は少ないと思います。でも、このことは、その当時、苦楽を共にして一緒に働いた仲間たちの思い出と共に、今の自分の胸の中でそつと輝いています。

（こぬまひろゆき
小沼廣幸『SDGsから考える世界の食料問題』による）

問1 —— 線部①「緑の革命」によってもたらされたこととして、適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- イ 新しい穀物・化学肥料・農薬の普及で、農民の衛生管理や生態系への好ましい循環のみが生み出されていたこと。
- ロ 穀物生産量が増加し、慢性的飢餓人口の全人口に対する割合はアフリカとほぼ同じレベルの一七％に半減した。
- ハ 品質改良の成功や農業の機械化を促進したことで、穀物の市場価格が低下し儲からない農業が定着していったこと。
- ニ 井戸を掘り灌漑農業がほぼ浸透したが、お金がなくて貧しい人たちにまで安全な水道水が行きわたっていないこと。
- ホ 化学肥料を多用することで土壌が豊かになり、農業振興のための国家予算の配分を大幅に減らすことが出来たこと。

問2 〓線部④「相乗的」とあるが、使い方が正しい文を次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

イ クラス全員であいさつをすると相乗的に健康になるようだ。

ロ 結局のところ農業改善が飢餓人口を相乗的に減らしている。

ハ 植物の光合成でほとんどの大気汚染を相乗的に解消している。

ニ 出汁は何種類ものうまみ成分によって相乗的においしくなる。

問3 〓線部⑤「必ずしも」が直接かかる言葉はどれか。最も適当なものを、イ～ホの中から一つ選んで記号で答えなさい。

・ 必ずしも イ いいこと ロ ばかりでは ハ なかった ニ ことが ホ わかります。

問4 に囲まれたA～Eの各文を、文章の意味が通るように並べかえた順序として最も適当なものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ A↓B↓C↓D↓E ロ B↓D↓C↓E↓A ハ C↓A↓E↓D↓B ニ D↓E↓A↓B↓C

問5 ―線部②「一時期、コメの国際価格が一年もたたないうちに三倍に跳ね上がりました」とあるが、それはなぜか。原因として**適当でないもの**を一つ選んで、記号で答えなさい。

- イ ウクライナとロシアの旱魃で穀類の国際価格が上がり、それにもなつてコメの価格も上がったから。
- ロ 旱魃に襲われたコメの主要輸出国の一つベトナムが自国のコメの在庫を守るため輸出を停止したから。
- ハ タイは自国の政情が不安定なために、コメの輸出価格を上げて政情を安定化させようとしていたから。
- ニ フィリピンは基幹食料であるコメを自給できないで、タイやベトナムからの輸入に依存していたから。

問6 ―線部「拍車を © 」とあるが、 にあてはまる言葉を、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- イ あげた ロ おした ハ かけた ニ まわした

問7 【Ⅰ】〜【Ⅳ】に当てはまる言葉として最も適当なものを、次の中から一つずつ選んで記号で答えなさい。同じ記号は二回以上使えない。

- イ しかし ロ そして ハ なぜなら ニ また

問 8 ③ にあてはまる二字の語を文章中より探し、ぬき出して答えなさい。

問 9 — 線部④「多くの人たちは気がついたのです」とあるが、何に気がついたのか。それをあらわす表現を— 線部⑥より後の文章より十字以内で探し、ぬき出して答えなさい。

問 10 — 線部⑤「SDGsの番目の目標」とあるがに入る数字を次のページの【表】を参考に漢数字に直して答えなさい。



【表】

国際連合広報センター ホームページ「持続可能な開発目標（SDGs）」より

問 11 — 線部⑥「それに対する世界の期待」とあるが、「世界の期待」は具体的にどのような形であらわれたのか。それを説明する表

現を、文章中より二十字で探し、始めと終わりの三字をぬき出して答えなさい。

問 12 ⑦ にあてはまる最も適当なことを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|-----------|---|----------|---|---------|
| イ | アドミツション | ロ | イマジネーション | ハ | ソリューション |
| ニ | フラストレーション | ホ | リレイション | | |

問 13 文章と同じ内容を述べているものを二つ選び、解答用紙の記号に○をつけなさい。

イ 一九五〇年代から六〇年初めにかけて、東南アジアの国々は旱魃による餓死者や、伝染病による死者の増加に何度も瀕したので灌漑や農業機械化を促進していった。

ロ 中近東、アフリカなど貧しい食糧輸入依存国では、食料品の価格が高騰し、反政府集会や暴動・食料の略奪・店の焼き討ちなどの人道的にも悲惨な事件が起こった。

ハ F A O は二〇〇九年に「世界の食料安全保障に関するハイレベル会合」を開催し、貧しい国の人たちを守るため、一方的な食料輸入制限をやめるよう話し合った。

ニ 「リオ＋20 国連持続可能な開発会議」において、二〇二五年までに地球上から飢餓を撲滅する世界の共通優先課題として「ゼロ・ハンガー・チャレンジ」が引きつがれた。

ホ 多くの苦勞、努力の結果「二〇一五年までに慢性的飢餓人口の割合を半減させる」目標は、アジア太平洋地域とアングロアメリカ地域の二つだけで達成することができた。

問
14

――線部 a 「タイショ」、b 「サンドウ」、c 「ムク（われ）」のカタカナを正しい漢字に直しなさい。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(問題の都合上、本文を変えているところがあります。※のついた説明は出題者が加えたものです。)

ここでは、クローズアップが効いている秀句しゆくくを紹介しながら、秀句と凡句ぼんくとの違いの微妙なラインを探っていく。そのためには、まず俳句における「写生」ということを今一度考えようと思う。正岡子規まさおかしきが俳句における「写生」を提唱したのは、子規の人生の中で最も絶望的な時期であった。幼いころからの夢が破れ、余命数年である事が判明した時、眼前に咲く花や虫の様子のみを描くことでひととき無心になれる。平凡な情景へいぼんを黙だまって描くことを「写生」と名付け俳句の根本に据えた。その後高浜虚子たかはまきよしは四季の移ろいを小宇宙として描くことは、一種の現実逃避げんじつとうひであると同時に「私」が現世に生きている確かな手触りであり「極楽」(平凡な小さな日常の出来事を詠む)としての「写生」を信条とした。俳句史上、虚子は心を詠むことを否定しているように思われているが、虚子自身の作品にも、またその選句にも抒情的な秀句が多くある。俳句を詠む際、その素材を選ぶ時、またその素材を見る時、そして③音の俳句とする時、作者の「心の力」の力量が平凡な句と秀句との間には存在するように感じる。

A 犬ふぐりどこにも咲くさみしいから

たかだふうじんし
高田風人子

この句は昭和二十四年作であり「ホトトギス」で虚子の称賛しょうさんを得た句である。戦後の荒廃した国土、人心、また作者の境涯きやうがいが重なり④ように生まれたのであろう。作者の心の詠嘆えいたんが美しい破調はちよう(※決まった音数をあえてくずして詠むこと)となっている。もし

「犬ふぐりどこにでも咲くさみしいから」と「で」の一字が入っていたなら、景色を詠んだだけの凡句となっていたのではないかと思う。

B ひとづまにゑんどうやはらかに煮えぬ 桂 信子

〈煮えぬ〉の他を全部仮名書きにしていることで、人妻の初々しさや豌豆の柔らかさが伝わってくる。この句のこれらを漢字で表記していたら、艶つぼさが失われてしまうように思う。また上五（※俳句における最初の五音の呼び名）に〈ひとづまに〉と〈に〉を用いたことで、豌豆が上手く煮えた喜びが伝わるよう。【Ⅰ】「心の力」を感じる句である。

風人子の句も信子の句も一文字で凡句となる可能性があり、③音の短詩である俳句においては一文字にまで心を配り、推敲する⑤ことが大切である。

C しづかなる力満ちゆき蟬蛸とぶ 加藤楸邨

D 冬蜂の死にどころなく歩きけり 村上鬼城

この二句は自己の心を投影した句である。楸邨の句からは対象を通して作者の身体の中にも静かな力が湧いてゆくのを感じられる。また鬼城の句は、貧困と病に責められ通しの境涯を托した句であり、痛々しいが骨太で力強い。これらの句は、深く対象を観て、自身の中へ引き込み自身の心と融合させ句を成した。それぞれに【Ⅱ】「心の力」が感じられる。

E 白葱しろねぎのひかりの棒をいま刻む

くろだもこ
黒田杏子

F ゆで玉子むけばかがやく花曇はなぐもり

なかむらていよ
中村汀女

この二句からは、【Ⅲ】「心の力」を感じる。日常生活の中での発見は喜びと驚きとなり、更には未知の世界への期待となる。杏子句は真つ白な〈葱〉が〈ひかりの棒〉と見えた瞬間の心の輝きが、生き生きと感じられる。汀女句はゆで卵がつるんと剥けた瞬間、曇っていた空が輝き美しい桜の世界が現れた。どちらも日常の平凡な生活の中で【Ⅲ】「心の力」が宇宙の輝きを引き寄せたように感じられる秀句である。

G 見えさうな金木犀そう なきんもくせいの香なりけり

つがわ えりこ
津川絵理子

H 柱よりはみ出て蟬せみの片眼かな

〃

絵理子は平凡な日常から新鮮な俳句を紡ぎ出す高い感性の持ち主である。〈金木犀〉の句は第一句集に所収。〈金木犀の香〉を詠んだ凡句は山程あるが、〈見えさうな〉と言われて初めてはつとさせられる。⑥ 見えているもののみならず、見えないものも写生する「心の力」。〈蟬〉の句は第三句集所収。この柱からはみ出た蟬の片眼はこの世を俯瞰（※高い所から見下ろすこと）しているようにも思え、また自身をも俯瞰しているようにまで感じる。同じ作者の中でも以前より「心の力」が深まっているようだ。

秀句を生み出すには、ものを深く観ることで日頃から「心の力」を鍛える必要があるように思う。

問1 ———線部①「秀句と凡句との違いの微妙なライン」とあるが、「違い」はどのようなところにあると筆者は述べているのか。それを説明した次の文の【 】に当てはまる十一字の表現を、文章中からぬき出して答えなさい。

・筆者は、秀句と凡句との違いは【 】の差にあると感じている。

問2 ———線部②「俳句における『写生』」とあるが、ここで述べられている「写生」に関する内容として最も適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- イ 正岡子規は幼少期からの夢が破れ、現実から目をそむけ句を作ることを「写生」と名付けた。
- ロ 正岡子規はわずかな自分の余命の中で、無心になれる景色を描くことを「写生」と名付けた。
- ハ 高浜虚子は「極楽」にいくために、目の前に咲く花々や虫を描くことを「写生」と名付けた。
- ニ 高浜虚子は四季の移ろいを小宇宙として描くことを理想とし、その心を「写生」と名付けた。

問3 ③ には俳句の音数が入る。最も適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

イ 五 ロ 十二 ハ 十七 ニ 三十一

問4 ④ に当てはまる言葉を次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

イ 戒める いまし ロ 呟く つぶや ハ 閃く ひらめ ニ 怒鳴る どな

問5 【 I ⅴ III 】 に当てはまる語として最も適当なものを、次の中から一つずつ選んで答えなさい。同じ記号は二回以上使えない。

イ 明るい ロ 暗い ハ かたい ニ 強い ホ さわやかな ヘ やわらかな

問6 ——— 線部⑤「推敲」の意味として最も適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

イ 言い表す言葉が正しいかを見直すこと。 ロ けずったり手を加えたりして直すこと。
ハ 良くしようと何度も考え作り直すこと。 ニ わかりやすいようにきれいに直すこと。

問7 俳句A～Hの中で、秋の季語をふくむ組み合わせとして最も適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

イ AとF ロ BとH ハ CとG ニ DとE

問8 ———線部⑥「見えているもののみならず、見えないものも写生する」とあるが、これはどのようなことか。具体的に三十字以内で説明しなさい。

本校の許可なく、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷するなど、第三者の利用に供することを禁止致します。